

良識ある保守主義・情報公開

# 吉田つとむ

町田市議会議員 5期連続トップ当選

<編集発行>

〒194-0011 町田市  
成瀬が丘 1-14-12  
サンホワイト E103-13  
自宅 042-795-7361(fax 兼用)  
市議会議員 吉田つとむ  
yoshidaben@gmail.com



## 市議会選で5期連続トップ当選

吉田つとむは、町田市議選で初の1万票超を達席

令和8年2月15日執行の町田市議選において、吉田つとむは、5期連続トップ当選を果たしましたが、その得票は10,425票を記録し、これで町田市議選の最高得票を3回連続して更新記録も塗り替えました。この間、各地の地方選挙でトップを占めている国民民主党(2位)や参政党(3位)を退け、かつ、高市ブームの自民党候補を退けた、全国で唯一、地方選で「支持政党なし」の旗を掲げた候補者が圧勝したものです。町田市には反権威主義的志向や、あるいは長年使ってきた「良識ある保守主義」というスローガンにも、大きく共感をいただいているのではないかと考えています。ローカル紙のタウンニュースはその見出し、「市議選 吉田氏が5期連続トップ 最年少は初当選の28歳」と記し、次点に2800票以上の差をつけてトップ当選した・・・と書き、その勝因を本人の弁を通じて明快に記していました。この得票数は維新の議員2名分8079票、立憲民主3名分8191票を上回っています。

また、市議会無所属会派(現職3人)の合計得票は18716票となり、公明党5人15472票、共産党3名14187票を越えています。さらに、国民民主3名(1名落選)15649票もはるかに多くなっています。さらに、最年少28歳神事の長谷川圭亮さんを迎え、4名の総投票2111票に達しました。

なお、自民党所属、関係候補は最高で9位であり、高市効果を単純に発揮したとは言えない得票傾向を示しました。



吉田は選挙中にも神社参拝(高ヶ坂熊野神社)

## 電子投票選挙(宮崎県新富町長町議補選)に視察出張計画

電子投票選挙の改定後、2度目の選挙に注目

現在の任期中(3月8日まで)に、電子投票選挙(宮崎県新富町長町議補選2026年2月20日告示、3月1日投票)に視察出張の予定を立てたものです。



2024年12月大阪府四條畷市の電子投票選挙取材

吉田つとむは、日本の電子投票自治体に関して、その導入時に全ての自治体を訪れています。議員はもちろん、研究者、学者、業界人、選管職員を含めて、日本でただ一人だと自負しています。そのため、今回の宮崎県新富町長町議補選の視察も事前に日程に組み込みました。今回は一昨年、電子投票開票システムの一部変更で専用機の使用が必須でなくなり、汎用のタブレット端末機が使用可能になり、電子投票の導入が容易になったのではないかと注目されており、一昨年、2024年12月に実施された大阪府四條畷市の市長市議補選の電子投票選挙以上の人物が各地方からその視察に訪れるのではないかとされています。

そのため、私も町田市議選の前に各チケットを予約し、町田市議選挙の最中(議長が市長選に立候補し、自動失職時)、副議長(自動的に議長代理となる模様)充てに、視察届を提出したものです。視察終了後、現地取材の報告書を作成します。

大阪府四條畷市の電子投票選挙の開票会場で撮影

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

○町田発技術を駆使使用した水耕栽培メロン 全国に広がる産地を結集、まずは日本一を決める

町田市議会の改選で新たな議員が誕生し、その議員による会派の構成が行われます。

若い世代の育成に全力をささげる  
町田市議会議員(支持政党なしの方々の代表)

# 吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは  
左記を讀込  
して送信



好評インターンシップは、第57期生が先行スタート。

## 元ヤフー社長：宮坂学副知事の講演を聴く

第64回東京都市議会議員研修会(東京都市議会議員会主催)が府中の森芸術劇場で開催されて参加し、周囲の参加者から大いに歓迎を受けました。(総勢500人以上が参加し、町田は1名)という次第でした。2026年2月6日p

講師の宮坂学東京都副知事(元ヤフー株式会社取締役会長)は、最近お聴きした講師の中で、大変オープンな方で、撮影、録画、ネット掲載自由と言うものでした。

東京都は、23区部、多摩地域(26市、2町、1村)、及び島しょ地域(伊豆諸島、小笠原諸島)で構成されており、一律の把握はできないものと思います。ただし、東京都が行うクラウドサービスについては、共同施策が提起され、都民個人には共通したサービスが提供されるものと考えます。つまり、今回の東京アプリの登録による1万1千円のポイント提供の施策が特徴的なものと言えましょう。宮坂学副知事の講演によると、昨今の情報分野の発展はコンピューターの発展より、クラウド側の発展で大きな変化をもたらしているというものでした。露光(リソグラフィ)技術において、画期的な製品を生み出すオランダのASMLの諸業績や、生成AIの飛躍的な発展をもたらしているGPU(画像処理半導体)で卓越した技術を提供するNVIDIA(エヌビディア)などを除いています。

アップルの音楽配信、アマゾンの流通、ウーバーイーツの例を提示しての説明が行われました。



## 作品展を鑑賞：町田デザイン専門学校と横浜美大

町田デザイン専門学校の展覧会は卒業生を主体に作品を展示する産学ネットワーク展として開催されるものです。他方の横浜美大の卒業生の卒業制作展を鑑賞したものです。



町田デザイン専門学校

上記の町田デザイン専門学校の作品展示では、実社会に直ぐにも採用されるような企画作品に注目しました。「節菓」とブランドを名を付け、24季節にちなんだ和菓子が考案されており、デザインも優れていると感じました。

横浜美大ではアンケートがあり、自分が1点選ぶことと、作品展全体のアンケートを書く指示要請があり、長めのメッセージを書きました。



横浜美術大学

美大の場合は自分が大学で勉強した分野で就業できれば良いのですが、社会や企業の需要がそこまであるとは思えず、一般の分野で就業する例が多いと思います。しかし、地道に修養を積み、学業の成果がどこかで発揮されることを願っています。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2026年1月末までに115名が参加しています。

◎57期生として、私立高校2年生の「古閑永都」さんのインターン研修体験記を掲載中です。講義が中心ですが、視察見学記も加えています。

\*次期のインターンシップは、2026年春季第57期生の受け入れ照会中です。